■日本緩和医療学会 第8回関西支部学術大会 一般演題リスト 2026年10月10日（土）京都府立京都学・歴彩館、稲盛記念会館

2026年9月28日時点

会場	プログラム	座長	座長所属機関名	発表時間	No	筆頭演者氏名	筆頭演者所属機関名	演題名
第5会場 稲盛記念会館 講義室210	一般演題① 教育・看護	荒尾　晴恵 市原　香織	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 淀川キリスト教病院	9:20-9:30	0-34	住野　真紀	独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター看護部	急性期病棟から緩和ケア病棟に異動した看護師が感じる理想と現実のずれ ～開設３年目の緩和ケア病棟において～
				9:30-9:40	0-35	山崎　圭一	ベルランド総合病院　緩和ケア科	大阪府緩和ケア研修会指導者フォローアップ研修会の実践と課題：アンケート結果を踏まえて
				9:40-9:50	0-36	秋山　正子	大阪信愛学院大学　看護学部	看護学部教員・学生と地域住民参加の会「なとろルーム：タナトロジーとリラックス」～もしバナゲームとアロマセラピーを用いた地域へのACP推進活動
				9:50-10:00	0-37	志方　優子	奈良県立医科大学附属病院　緩和ケアセンター	緩和照射患者の初回診察における緩和ケアセンター看護師同席の有用性の検討
				10:00-10:10	0-38	間城　絵里奈	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻	高齢がん患者に対するケア・コーディネーションの実践における課題：文献レビュー
				10:10-10:20	0-39	岡山　幸子	宝塚市立病院　看護部	看護学生へのエンド・オブ・ライフケアの授業を通して～効果的な看護学生の授業を考える～
	一般演題② 在宅緩和ケア	清水　政克 鶴田　理恵	医療法人社団 清水メディカルクリニック 大阪公立大学	10:25-10:35	0-21	田上　恵太	双樹会 よしき往診クリニック	京都は在宅緩和ケアから”もお声がけ！” 病院⇔在宅医療、双方向性の社会実装連携システム：Kyoto西京緩和ケアRevolutionsのヒミツ
				10:35-10:45	0-22	國廣　英一	志都美薬局	癌終末期における不眠や譫妄に対して特殊型PCAポンプ（エイミーPCA）のプログラム投与を用いて夜間鎮静を行った在宅緩和ケア症例
				10:45-10:55	0-23	平本　秀二	医療法人平和の森ピースホームケアクリニック	在宅ケア領域における患者と遺族のスピリチュアルペイン
				10:55-11:05	0-24	西川　誠人	滋賀医科大学医学部附属病院　看護部　腫瘍センター・緩和ケアセンター	終末期がん患者の在宅移行支援の一例医療依存度の高い患者への切れ目のない連携を経験して
				11:05-11:15	0-25	小林　政雄	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院緩和ケアチーム	病院外来を拠点に終末期在宅療養を支えた中咽頭癌患者への看護
				11:15-11:25	0-26	原田　奈津子	医療法人平和の森	在宅緩和ケアにおける「顔の見える関係」を育む地域活動の実践報告～参加者アンケート結果から～
	一般演題③ オピオイド	権　哲 宮部　貴識	済生会滋賀県病院 国立病院機構大阪刀根山医療センター薬剤部	11:30-11:40	0-01	松尾　佳那子	京都府立医科大学　麻酔科学教室　疼痛緩和医療部	横行結腸人工肛門造設後にトラマドール塩酸塩徐放錠の効果不十分が疑われ、非徐放製剤への変更で疼痛改善を認めた1例
				11:40-11:50	0-02	谷口　彩乃	京都府立医科大学附属病院　疼痛・緩和ケア科	退薬症候を契機にオピオイド鎮痛薬の不適切使用へ介入し得たがんサバイバーの１例
				11:50-12:00	0-03	土井　陽子	兵庫医科大学病院　緩和ケアチーム	患者の語りから服薬行動を再解釈した一例―オピオイド適正使用支援につながった看護介入―
				12:00-12:10	0-04	二宮　万理恵	市立豊中病院　緩和ケアセンター	心電図自動解析でQT間隔延長を認めたが、他の測定法によりQT間隔正常と判断しメサドンを安全に導入できた2症例
				12:10-12:20	0-05	滝本　佳予	市立豊中病院　麻酔科　緩和ケアチーム	医療用麻薬依存歴の情報共有不足により不適切使用が懸念されたが緩和ケアチームの介入で適正化した一症例
				12:20-12:30	0-06	金城　和美	済生会兵庫県病院，呼吸器内科	自宅療養が可能となった難治性癌性疼痛の1例
	一般演題④ 神経ブロック、IVR	栗山　俊之 谷口　彩乃	和歌山県立医科大学附属病院 京都府立医科大学付属病院	13:40-13:50	0-07	古畑　真有	兵庫医科大学　麻酔科学講座	がん患者の難治性疼痛に対する病態再評価の重要性を示した2症例
				13:50-14:00	0-08	権　哲	済生会滋賀県病院疼痛（ペインクリニック）・緩和ケア科	サドルブロックを施行してオピオイド鎮痛薬を中止できた前立腺がんの１症例
				14:00-14:10	0-09	西尾福　英之	奈良県立医科大学　放射線診断・IVR学講座	緩和IVR先行により集学的治療を導入し得た乳癌仙骨転移による難治性がん疼痛の1例
				14:10-14:20	0-10	豊田　将平	奈良県立医科大学　放射線診断・IVR学講座	有痛性骨転移に対して薬物療法や放射線治療に加えて緩和IVRを並走して繰り返すことで症状緩和が得られた1例
				14:20-14:30	0-11	三浦　幸子	奈良県立医科大学　放射線腫瘍医学講座	外照射困難な口腔悪性腫瘍に対し単回の緩和的組織内照射を施行した3例
	一般演題⑥ 身体症状、薬物	西本　哲郎 藤原　恵	神戸市立医療センター中央市民病院 京都第一赤十字病院　緩和ケア内科	14:35-14:45	0-17	安井　大貴	医仁会武田総合病院　消化器内科	悪性幽門狭窄に対してステント留置が機能せず，胃瘻造設術によりQOL改善をみた進行胃癌の1例
				14:45-14:55	0-18	濱田　賢一	パナソニック健康保険組合　松下記念病院　緩和ケア内科	終末期胃癌患者の上部消化管出血に対し，オクトレオチドが有効であった一例
				14:55-15:05	0-19	高野　淳	滋賀医科大学医学部臨床腫瘍学講座	大学病院における希少がん・難治がんのがん薬物療法レジメンの考察
				15:05-15:15	0-20	越田　晶子	京都府立医科大学附属病院　疼痛・緩和ケア科	終末期がん患者の意識障害の原因としてバルプロ酸ナトリウムの副作用が疑われた一例
	一般演題⑧ 小児、AYA	池永　昌之 杉浦　康代	淀川キリスト教病院 京都府立医科大学付属病院　緩和ケアセンター	15:20-15:30	0-45	住本　秀敏	滋賀医科大学医学部附属病院　腫瘍内科	AYA世代終末期がん患者のスピリチュアルペインに関する考察
				15:30-15:40	0-46	木原　歩美	京都民医連あすかい病院	子育て世代がん患者の子どもと家族を支えるCLIMBプログラムの実践報告
				15:40-15:50	0-47	狗巻　洋平	近畿大学病院　緩和ケアセンター	自閉スペクトラム症の傾向を有するAYA世代がん患者へのソーシャルワーク支援
				15:50-16:00	0-48	平山　哲	地方独立行政法人大阪府立病院機構　大阪母子医療センター子どものこころの診療科	小児総合病院における緩和ケア部門の立ち上げと多職種連携活動の報告
第6会場 （午後） 稲盛記念会館 講義室203	一般演題⑤ 非がん、腎不全	坂下　明大 橋本　百代	兵庫県立はりま姫路総合医療センター 市立芦屋病院　薬剤科	13:40-13:50	0-12	松田　良信	市立芦屋病院緩和ケア内科	緩和ケア病棟に入院した終末期の末期腎不全患者の１例
				13:50-14:00	0-13	木村　拓哉	神戸市立医療センター中央市民病院　緩和ケア内科	難治性2型呼吸困難に対する終末期ケアとしてミダゾラムを投与した後に高CO2血症の改善を認めた1例
				14:00-14:10	0-14	所　昭宏	国立病院機構近畿中央呼吸器センター心療内科/支持・緩和療法チーム	呼吸器専門施設における非がん性呼吸器疾患緩和ケア診療加算対象拡大に関する後方視的検討
				14:10-14:20	0-15	澤田　里子	かがやき訪問看護ステーション加美駅前	非がん患者が抱えるトータルペインについての一考察～在宅看護師が末期腎不全患者とその家族をどのように支援するか～
				14:20-14:30	0-16	髙橋　恵子	JCHO滋賀病院緩和ケア科	透析非導入、保存的腎臓療法にて苦痛緩和を行い看取った2症例
	一般演題⑦ 精神、 スピリチュアル	所　昭宏 西山　菜々子	国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 大阪公立大学	14:35-14:45	0-27	所　昭宏	国立病院機構近畿中央呼吸器センター支持・緩和療法チーム	A病院における院内がん自殺対策に関する取り組み
				14:45-14:55	0-28	酒井　あゆみ	医療法人財団今井会足立病院　足立乳腺クリニック	化学療法を受ける患者に寄り添う―眉毛アートメイクによるQOL向上への支援―
				14:55-15:05	0-29	西川　亜紀子	高槻赤十字病院　看護部	「急にガクッとした」という体験への援助―スピリチュアルペインが顕在化した一事例―
				15:05-15:15	0-30	前田　一石	医療法人協和会　千里中央病院　緩和ケア内科	ブロナンセリン貼付剤開始前後の夜間活動度を、眠りスキャンを用いて持続的にモニタリングできた終末期せん妄の2症例
				15:15-15:25	0-31	乾　貴絵	兵庫医科大学病院　緩和ケアセンター	鎮静前カンファレンスにより患者の意向をふまえ症状緩和への対応を再検討した1例
				15:25-15:35	0-32	熊野　宏治	パナソニック健康保険組合　松下記念病院　診療技術部　リハビリテーション療法室	緩和ケア病棟における非接触型バーチャル散歩システム「テレさんぽ」の導入と心理的障壁の検討
				15:35-15:45	0-33	石垣　理穂	京都府立医大アイバンク	緩和ケアにおける眼球提供の意義
	一般演題⑨ ACP	安保　博文 竹之内　紗弥香	六甲病院 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系	15:50-16:00	0-40	井関　千裕	社会福祉法人大阪暁明館　大阪暁明館病院　看護部	一時帰郷の計画と中止を経て患者の真意を共有できた一例～終末期がん患者の言動の背景にある想いと家族支援～
				16:00-16:10	0-41	関根　知嘉子	国立病院機構　大阪医療センター　医療福祉相談室	緩和ケア病棟責任者からみた受け入れ困難となる患者背景―関西地域と全国の比較―
				16:10-16:20	0-42	川村　知裕	大阪南医療センター　緩和ケア内科	落語家を活用した地域住民向けACPイベントの実践報告―複合的理論に基づく普及アプローチの検討―
				16:20-16:30	0-43	平山　司樹	医療法人葛西医院訪問看護ステーションかっさい	在宅看取りにおけるACPで確認した本人の希望の実現と遺族の後悔との関連
				16:30-16:40	0-44	所　昭宏	国立病院機構近畿中央呼吸器センター支持・緩和療法チーム	S市における働く世代に向けての市民を対象としたアドバンス・ケア・プランニング啓発活動の取り組み2025
第6会場 （午前） 稲盛記念会館 講義室209	フレッシャーズ① 看取り、退院支援	乾　貴絵 青木　美和	兵庫医科大学病院 近畿大学看護学部 慢性・がん看護学分野	9:20-9:30	F-01	迫間　藍	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻	死前喘鳴を呈するがん患者の家族介護者の心理的苦痛：ナラティブレビュー
				9:30-9:40	F-02	塚本　佳裕	聖隷福祉事業団　聖隷淡路病院　看護部	予後予測スケールPiPSを活用した院内外多職種協働による迅速な退院支援～子宮頸癌終末期患者の希望に沿った在宅看取りを経験して～
				9:40-9:50	F-03	生田　陽子	地方独立行政法人　市立吹田市民病院　消化器,外科病棟	急性期病院における終末期患者・家族への病状理解支援と在宅移行支援の一例
				9:50-10:00	F-04	小谷　明日香	元 大阪大学医学部保健学科	親との死別を経験した未成年の子どもに対するグリーフケアに関する文献検討
				10:00-10:10	F-05	木村　稜子	大阪大学医学部附属病院	造血幹細胞移植後早期再発を来した若年患者への終末期の意思決定を支援した事例
				10:10-10:20	F-06	竹ノ山　優未子	医療法人社団　井野病院　４階病棟	終末期肺癌患者の変化する希望に伴走した実践報告―「家に帰りたい」から「病院で過ごしたい」へ揺れ動く思いを支えた１症例―
	フレッシャーズ② 緩和ケア	相木　佐代 岡山　幸子	独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 宝塚市立病院	10:25-10:35	F-12	上田　健斗	国立病院機構近畿中央呼吸器センター心療内科/支持・緩和療法チーム	呼吸困難を有する患者へのリラクセーション法導入における工夫：個別化を図った5症例からの検討
				10:35-10:45	F-13	山中　美香	パナソニック健康保険組合　松下記念病院　看護部	緩和ケア病棟における家族参加型ケアの実践～家族と共に行う小地よい時間の提供～
				10:45-10:55	F-14	内野　奈美子	社会医療法人財団聖フランシスコ会　姫路聖マリア病院　看護部	オリーブ油浣腸による緩和ケア病棟入院患者にとっての安楽な排便ケア
				10:55-11:05	F-15	栗島　麻香	市立芦屋病院看護部	社会的孤立を抱えた終末期患者の意思と生活を支えた多職種連携の一例
				11:05-11:15	F-16	大野　有里	大阪市立総合医療センター　緩和ケアセンター	はじめて終末期がん患者のスピリチュアルケアを実践して
				11:15-11:25	F-17	宮田　奈苗	滋賀医科大学医学部附属病院　3C病棟	高齢肺がん患者の治療中止に対する意思決定支援
	フレッシャーズ③ 教育、 家族・遺族ケア	山崎　圭一 山本　瀬奈	ベルランド総合病院 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻	11:30-11:40	F-07	辻本　光希	健生会　吉田病院　看護部	緩和ケア病棟で最期を迎えられた遺族の満足度調査
				11:40-11:50	F-08	藤村　敦子	大阪労災病院　がんセンター	がん患者家族における就労に関する実態調査と今後の課題
				11:50-12:00	F-09	片岡　久美	三菱神戸病院　２B病棟	緩和ケアリンクナースの育成～各病棟における緩和ケア看護の充実を目指して～
				12:00-12:10	F-10	佐道　花菜	奈良県立医科大学附属病院　緩和ケアセンター	医療安全と業務効率化を目指した麻薬持続注射の標準化とセット処方化の取り組み
				12:10-12:20	F-11	谷川　真菜	大阪労災病院　看護部	緩和ケア病床のデスカンファレンスの傾向分析～勉強会前後の看護師の悲嘆認識や共感疲労について～
第5会場 稲盛記念会館 講義室210	優秀演題	蓮尾　英明 上野　博司	関西医科大学心療内科学講座 パナソニック健康保険組合松下記念病院 緩和ケア内科	16:05-16:15	P-01	宮部　貴識	大阪刀根山医療センター薬剤部	肺がん緩和ケア患者におけるポリファーマシーと抗コリン負荷の検討
				16:15-16:25	P-02	井上　稔也	医療法人ORINAS いのうえ在宅診療所	常勤医1名体制を持続可能にする在宅緩和ケアモデル：別法人連携とコールセンター運用の個別化
				16:25-16:35	P-03	大武　陽一	たけお内科クリニック　からだと心の診療所	大阪府二次医療圏におけるCKD関連ニーズと腎不全緩和ケア資源の地域差
				16:35-16:45	P-04	渡邉　めぐみ	滋賀医科大学医学部附属病院　看護部　腫瘍センター	リンパ浮腫外来を起点とした人材育成への取り組み～地域がん診療連携拠点病院における院内から地域への展開～
				16:45-16:55	P-05	関根　知嘉子	国立病院機構　大阪医療センター　医療福祉相談室	がん診療連携拠点病院相談支援担当者からみた緩和ケア病棟で受け入れ困難となる患者背景―関西地域と全国の比較―